

尾側膵癌切除後の予後予測因子の検討

1. 研究の対象

2007 年 1 月以降、当院消化器外科で尾側膵癌を切除した方

2. 研究目的・方法

膵癌全体の予後因子は様々な研究がおこなわれているが、尾側膵癌に限った検討は少ない。尾側膵癌は頭側膵癌に比較し発見時期が遅く、手術適応となる頻度も低いとされる。今回、当科における尾側膵癌切除症例の予後因子を解析することにより、治療成績の向上に寄与すると思われる

研究実施期間：研究許可日から 5 年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査、画像検査（レントゲン写真や CT/MRI/PET 画像）、手術記録、術後合併症の発生状況、病理記録 等

4. 試料・情報の公開

研究を終了したときは、個人情報が出ないように加工したうえで、当該研究の結果を論文、学会にて発表する。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

埼玉県立がんセンター 消化器外科 小倉 俊郎

TEL 048-722-1111

研究責任者：埼玉県立がんセンター 消化器外科 小倉 俊郎